

- 12・5 自殺者3万人超す犠牲者―最多は3月―自殺抑止へ、100日目プラン―内閣府、国民運動も展開
- 12・6M「東京の路上生活者、6割に精神疾患―救済対策手つかず」
- 12・8A「『正社員化』14社のみ―派遣禁止対応100社アンケート、大半は『契約・請負』―進む『脱派遣』進まぬ安定雇用」／H「証券大半で『派遣切り』、正社員めざす日々―15社書類で落とされ、職業訓練校も高倍率」
- 12・8T「新規上場、最低の19社―今年、ピーク時の10分の1」
- ⇒12・8高卒の「新たな氷河期」―日高教発表、来春卒業予定の高校生、就職内定率59.6%（10・未現在）（12・9T）
- ⇒12・8「収入減で生活保護」急増（厚労省集計）―09・9の受給世帯126万7261世帯（08・9対比1.11倍）―高齢者、傷病者、障害者、母子、「その他」に分類―「その他」（失業者や十分な収入ない者）16万9106世帯（08・9に比べ1.42倍）（12・9T）
- ⇒12・11「派遣切り放置するな」デモ（厚労省前）―雨中で青年ら90人参加（12・12H）
- 12・6 取り調べ全面可視化を求める市民集会（鹿児島弁護士会主催）―志布市内（12・7H）

子ども持つこと不要の結婚観―そんな社会になったか

- 12・6 M（世論調査）―12・5内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」―10・1～18成年男女5000人対象、3240人回答
- ①結婚して子どもを持つ必要はないか―賛成22.5%、どちらかといえば賛成20.3%（計42.8%―07年調査時より6.0%増）、反対22.8%、どちらかといえば反対30.1%（計52.9%）
- ②結婚の必要性―「結婚は個人の自由だから、してもしなくても、どちらでもよい」70.0%（前回調査比4.9%増）
- ③「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」―反対55.1%（前回調査より

3.0%増)

④女性が子どもを持つことと職業—「子供が出来ても、ずっと職業を続ける方が良い」45.9%（前回調査より2.5%増）

⑤**男性の地位**—法律や制度面で「平等」と感じている44.4%、男性の方が優遇されている41.4%

→12・6T「『子ども必要ない』42%—子育て環境不安反映、20代女性は68%—内閣府調査」

→12・8M(社)「家庭生活意識調査—安心して産める環境を」

→12・7Y（世論調査）12・4～6 電話調査、有効回答1092人（63%）

①鳩山内閣—支持率59%、不支持29%、DK12%

②政党支持—民主42%、自民19%、公明2%、共産3%、社民2%、みんな1%、支持政党なし29%

③民主のマニフェスト—必ず守るべし18%、守れなくても仕方がない46%、こだわる必要はない34%

④**民主の政策への評価**

●子ども手当—公約通り実施を27%、見直すべし54%、実施反対16%、DK3%

●高速道路無料化—公約どおり12%、見直すべし37%、実施反対48%、DK2%

●ガソリン暫定税率廃止—公的通り36%、見直すべし32%、実施反対21%、DK11%

⑤事業仕分け—評価71%、評価しない20%、DK9%

⑥仕事仕分けに問題点—ある63%、ない22%、DK15%

⑦普天間移設—合意通り進めよ26%、少しは修正32%、大幅見直しを26%、DK16%

⑧鳩山内閣の経済政策—適切20%、適切と思わない68%

⑨鳩山首相の偽装献金の説明—果たしている10%、そう思わない85%

⑩鳩山首相は、偽装献金で元秘書が起訴された場合一辞任すべし 37%、辞任不要 54%、DK9%

普天間移設一基地撤去・安保見直しの転機に

12・6

A「**辺野古揺れて 13 年、対立再燃する辺野古**一移転賛成派分裂の過去、『もう静かにしておいて』一市長選同系の 2 人対決、『県外移設へ好機』『結論出た話』」「外相『米との交渉限界一普天間移設行き詰まりも』」「特集一日米安保 50 周年、日本外交を問う」(久保文明、岡田克也、五百旗頭真、藤田直史各氏) / Y「**普天間**一『白紙なら米の信頼失う』一沖縄再訪、外相が危機感」「マイケル・グリーン氏一普天間移設頓挫なら、『次の決着 10～15 年後』」 / N「**編集委員、秋田浩之**一普天間問題決着先送り一首相が招く同盟の亀裂」

⇒12・5 **沖縄シンポ**一「今沖縄の米軍基地問題を考える」(全国革新懇など主催一宜野湾市)一伊那洋一市長、仲山忠克弁護士、志位和夫共産委員長らパネラー、630 人参加 (12・6Hシンポ詳報一12・10H)

→12・7A「『**外交の継続性**』どこまで、普天間移設揺れる日米合意一政権交代、82 日目一国と国の約束変更は大仕事」 / M「**普天間移設年越に**一防衛相、突然の転換一背後に小沢・

興石ライン一グアムも浮上、見えぬ候補地、岡田氏板ばさみ」「普天間問題一『橋下発言』が波紋、『関西受け入れ議論拒否せぬ』」 / N「**米、『普天間』**二転三転に嫌気一鳩山政権を相手にせず？」

⇒12・7「**普天間移設一鳩山首相** (記者団)、「政府としての考え方を、いよいよ最終的にどういうふうに米国に申し上げるかを決める時だと思っている」(12・7M夕) / **アーミテージ元米国務副長官** (都内)、「日本政府が安全保障をどういう方向に導こうとしているのか理解できない」(12・8N)

→12・8A(社)「**情報収集衛星**一このまま進んでいいのか」→12・10H(主)「**情報収集衛星**一これこそ『廃止』すべき事業だ」

- 12・8Y夕「米、同盟協議『延期』一鳩山政権に通告、『普天間先送り』
反発一安保50年『深化』どころではない」
- 12・9A「日米、普天間協議中断へ一米『合意が壊れる』」「普天間暗礁、
同盟に影一首相、胸の内明かさず一『日米深化』早くも揺らぐ」／M「混
迷深まる日米関係、『同盟協議できる状況にない』一普天間移設先、『決定
せず』伝達へ」
- 12・10A(社)「普天間問題一日米関係の危機にするな」／Y(社)「普天間協
議中断一同盟の危機回復へ決断せよ」／T(社)「日米関係一信頼構築努力
惜しむな」
- ⇒12・9米、首脳会談に否定的態度一ホワイトハウス・ギブズ報道官(記者
会見)、「数週間前に首脳会談している。今は駐日大使らが対処するのが
適切だ。日米の作業部会こそが協議を続ける最善の場だ」(12・10A夕)
- 12・11M「普天間移設問題一日米首脳会談断念、首相『結論急がない』」
／Y「普天間、首相八方ふさがり一米は会談拒否、社民は圧力一閣内は
不一致」
- 12・11H「普天間大激動、政権は大迷走一米は首脳会談拒否／方針が二
転三転」
- ⇒12・11 普天間『18日までに結論を』一米キャンベル国務次官補、国民新・
下地幹部政調会長と会談で表明(ワシントン)(12・12Y夕)
- 12・13H(主)「米軍普天間基地一無条件撤去願う県民に応えよ」

巨額財政赤字一緊急経済政策と予算編成

- 12・6 A「財政難ぶれる公約一『違反』ぎりぎり苦渋の修正一目玉政策も圧縮対
象、政府現実路線で調整一参院選控え『堅守』圧力、民主意向反映に腐心」
- 12・8M「経済対策1000億円上積み、最終協議一計7.2兆円、国債を増
発」「亀井氏に揺さぶられ、2次補正予算案一普天間、郵政に続き一『国債
頼らず』一転」

⇒12・8 追加経済対策 7.2 兆円を閣議決定―「明日の安心と成長のための緊急経済対策」（雇用、環境、景気、生活の安心確保、地方支援、「国民潜在力」発揮、事業規模 24.4 兆円に／藤井財務相、閣議で説明―国の税込 36.9 兆円（当初見積もり 46.1 兆円）、新規国債発行額 53.5 兆円の見通し（12・8 各紙夕刊）

→12・9A 「国債残高 600 兆円超す―一年度末見通し、10 年余りで倍増」 「借金財政歯止め利かず―国債残高 600 兆円、収入上回る発行額―国民生活にもリスク」

→12・9M 夕 「GDP 大幅下方修正、年率 1.3%増―設備投資減で、7～9 月改定値」

→12・10Y 「GDP 下方修正―脱デフレ重い足取り、根強い『二番底』懸念」

12・6 Y 「『オバマ行脚』冷たい視線―米失業率 10%、現場を歩く」 「米覆う解雇の波―炊き出しに列／深刻な東西海岸」

⇒12・4 オバマ大統領支持 48%、不支持 50%（米 CNN テレビ発表―12・2～3 実施調査）（12・6N）

⇒12・7 世界の失業者―国際労働機関（ILO）、09 年版世界労働報告発表―09 年の世界失業者数 1 億 4100 万人、「世界主要国が景気刺激策を早期に打ち切ると、「長期失業者（1 年など長期求職しても就職先が見つからない状態）が 2012 年に向け 4300 万人増加の予測―地球温暖化対策と雇用対策の両立で「14 年までに 1430 万人の雇用を創出する効果が期待できる」（12・8N）

地球温暖化―COP15 は混迷を抜け出せるか

12・6 A(社)「COP15―人類の明日がかかる」／H(主)「COP15 開幕―温暖化防止への合意へ力つくせ」

→12・7M(社)「COP15 開幕―実行力ある合意目指せ」／N(社)「25%削減、

いかに実現—低炭素社会へ地域からモデルを作ろう」

→12・8T(社)「COP15開幕—より高く、より着実に」

→12・9A(社)「COP15—日欧連携で交渉を前へ」

⇒12・5 欧州各地で「温暖化防止」を訴える数万人のデモ—ロンドン (5万人)、パリ (約1500人)、ベルギー (1.5万人) など (12・7T、H)

⇒12・7COP15開幕 (コペンハーゲン) —約190カ国から1万5000人以上参加→12・18最終日 (12・8M)

→12・12YCOP15—ツバル「行動急いで」—水没危機、途上国にも削減要求」

→12・12A(社)「COP15—途上国支援を突破口に」

→12・13H「温暖化ストップ、実効ある合意を—日本で世界で市民が行進、アピール」

西松建設事件不正献金と鳩山首相偽装献金と

12・7 Yタ「西松『提供』事務所、二階氏側の『集金拠点』—家賃年280万円、個人献金装い補填」

→12・9A「9法人、収入大半国費—天下りの『指定席』、本社調査」—国民生活センター、関東建設弘済会、北陸建設弘済会、東北建設協会、海洋研究開発機構、自衛隊援護協会、四国建設弘済会など

→12・9M「独法食卓職員『隠れ天下り』—年収1000万円超11人」

⇒12・9 二階氏秘書・長田武敏秘書 (63)、略式起訴 (東京地検特捜部) —東京簡裁、罰金100万円の略式命令 (12・10M)

→12・9Mタ「西松建設—二階氏秘書偽装認める、規正法違反で略式起訴へ」

／Nタ「二階氏秘書、午後に略式起訴—西松献金東京地検、900万円虚偽記載疑い」

→12・10A(社)「二階氏秘書有罪—偽装献金を防ぐ抜本策を」

→12・10A「二階氏、西松と親密30年—政策秘書略式起訴—地元和歌山、

工事次々一捜査難航、形式犯で決着」／M「政治とカネ一自民、火消しに躍起、首相・小沢氏追及水差され一二階氏秘書略式起訴、鳩山邦夫氏献金謝罪」

→12・10M(社)「二階氏秘書立件一法改正に与野党で動け」／Y(社)「秘書略式起訴一二階氏の責任も免れない」

→12・11T(社)「二階氏秘書罰金一『業』との癒着くすぶる」

⇒12・11 自民融資議員十数人、二階俊博選対局長の辞任を求める要望書一西松献金事件で(12・12A)

→12・12M「偽装献金上申書、首相『虚偽記載知らず』一実母も提出へ『息子を応援』」

12・8 A「沖縄返還、費用肩代わり密約一『極秘に』と外務省通告、元大蔵省担当官が証言」一400万ドル肩代わり事件一森田一氏(75)一1970～71年当時旧大蔵省法規課課長補佐、額の見積りを300数十万ドルと報告し、最終的に400万ドルに」(西山記者事件)

→12・13M「密約文書現存せず一外務省廃棄処分か、沖縄返還費『肩代わり』元局長証言と矛盾」

12・8 米朝協議一米ボズワース特別代表、平壤入り(12・9Y)

→12・10A「北朝鮮、平和協定が狙い一米朝、本格協議入り」

／Y「米国防省高官も同席一米朝協議、北の警戒感払拭狙う」

⇒12・10ボズワース代表(ソウルで記者会見)、6者協の役割『共通理解』、復帰は確約せず(12・11A)

→12・11M「『急がない』米朝一致一中国の支援受け一息、アフガン・イラン優先一非核化のプロセス見えず、6カ国協議再開しても」

⇒12・10北朝鮮、コメント(外務省報道官)一「(核問題を巡る)6カ国協議の必要性和(同協議の)共同声明履行の重要性に関連し、一連の共通認識ができた」「朝米双方は残された違いを全て狭めるため、継続して協力することにした」／米クローリー一国務次官補(米国の求めに対する)「北朝鮮

からの明確な反応を待つ」(12・11M夕)

→12・11N夕「北朝鮮、平和協定を提起」ボズワース氏との協議で一米、核放棄優先を譲らず」

12・7

国会改革法「通常国会で」「民主、社民、国民新三党幹事長・国対委員長会談で合意／改革案」①政府参考人制度を廃止し、官僚答弁を禁じる②政府特別補佐人から法制局長官を外す③政治家同士の国会論戦を行う衆参委員会とは別に、行政監視を目的とした「新たな場」を設け、官僚や有識者から意見を聴取する(12・7A夕)

→12・8Y「国会法改正、具体化は多難」通常国会冒頭提出方針」

→12・8A(社)「陳情改革」政府与党二元化へ懸念」

小沢流政治支配「国会改革・陳情仕分け・巨大訪中団

→12・8H「小沢氏、首相と距離」難題続きの政権横目に、自身の政治基盤政策実現へ着々」「苦しい「辺野古以外」、普天間移設」一米、再考の気配なし」グアム、開空・実現性乏しく」

→12・9A「考、政党」小党の試練(上)」二大政党の狭間で翻弄された」政権交代立党の原点見つめる」→12・10A「小党の試練(下)」比例削減、存亡の危機感じた」政治の多様性守る道探す」

→12・9Y「連立きしみ表面化」菅、亀井氏なじり合い、首相の指導力見えず」「『陳情判定』前に」小沢氏詣で相次ぐ」←12・8 民主議員、「判定会議」前に、「小沢幹事長の下に列をなした」

⇒12・9 民主・政治改革推進本部、12・7 合意の国会法改定案に着手(役員会)(12・10H)

→12・9H「国会法改定狙う与党、『通常国会冒頭に』の暴論」歯止めなき解釈改憲への道」→12・11H(主)「国会法『改正』」解釈改憲への懸念は消せない」

→12・10A「陳情『小沢頼み』続々」政府一元化揺らぐ」小沢氏、緩衝材

か圧力か」／Ｙ「小沢氏盾に歳出圧力、与党 3 党一削減に逆行、政府は警戒」→12・11M「『小沢陳情』に熱視線一歳出圧力に政府戦々恐々、相乗りもくろむ社民、国民新」

⇒12・10 小沢訪中団 640 名、過去最大規模一人民大会堂で中国・胡錦濤主席と会談、国会議員 143 人は胡主席とツーショット写真 (12・11 各紙朝刊)

→12・10A「小沢パワー、巨大訪中団一民主議員従え、過去最大 640 人一胡主席に『私は司令塔』権勢誇示に批判の声も一中国厚遇、影響力に照準」
／訪中団構成一国会議員 143 人 (衆院 116 人、参院 27 人)、名誉団長小沢一郎、名誉副団長興石東、団長山岡賢次、事務総長細野豪志一主な参加者「一新会」会長鈴木克昌、副幹事長樋高剛、元小沢氏秘書石川知裕、副幹事長一川保夫、同佐藤公治、同青木愛、衆院初当選組 79 人 (12・11A)

→12・11M「中国重視鮮明、600 人『小沢訪中団』一普天間移設巡りすきま風の中、米の不信招く恐れ」「胡主席、異例の厚遇一民主党議員 140 人と握手」

→12・12Y(社)「小沢訪中団一握手とツーショットだけでは」

⇒12・10 労組組織率上昇 (厚労省、09 年の労組基礎調査発表) -18.5% (前年比 0.4%上昇)、1975 年 34.4%ピーク以来下り続けていたが、34 年ぶりに上昇／09・6・末時点の実態一組合員数 1007 万 8000 人／業種別一卸売り、小売業 7 万 400 人増、宿泊・飲食サービス業が 1.3 万人増、建設業と製造業は計 3.6 万人減／パート組合員、全産業で 8.4 万人増で初めて 70 万人 (全組合員中 7%) -全体の雇用者数 5455 万人、対前年 110 万人減 (12・11A)

12・10 政府、国債発行上限外し一平野博文官房長官 (記者会見)、来年度予算編成の基本方針に国債の新規発行額「44 兆円」枠を明記しない方針を公表 (12・11A)

→12・11Y「財政規律は崩壊寸前一国債 44 兆円以下断念、歳出圧力にアップアップ」／A「国債乱発の懸念現実味一上限明記見通り、遠のく財政再建」→12・12Y「国債『努力目標』歳出抑制にカネ不足一予算編成、難航は必至」

⇒12・11 審議会の女性委員 33.2%—福島男女共同参画担当相が報告（閣議）
—国の審議会 110、委員計 1809 人のうち女性 600 人（33.2%—09・9・末）
／省庁別—外務省 42.1%、農水省 35.9%、財務省 36.6%、防衛相 35.9%、
環境省 34.9%、法務省検察適格審査会 0（12・11T夕）

天皇の特別会見—小沢流中国外交のゴリ押し

- 12・11 天皇会見問題（岡田外相公表）—中国・習近平副主席（12・14～16 末日）
と天皇との会見セット、小沢自民幹事長の工作で／宮内庁・羽田長官、「1
ヵ月ルール」（95 年からの慣例で（陛下をお守りするためのルール）を理由
に 11・26 外務省からの打診を断わったこと、12・7 平野官房長官から「総
理の指示を受けての要請、ルールも分かるが、日中関係の重要性にかんが
みてぜひお願いする」との強い要請、『『是非ルールを遵守してほしい』と
申しあげた』とのこと（12・12A）
→12・12M夕「国事行為巡り波紋—天皇特別会見、『政治利用』批判も」Y
夕「小沢氏が首相に要請—天皇陛下、中国副主席会見—外務副大臣が釈明」
→12・13A(社)「天皇会見問題—悪しき先例にするな」／M(社)「天皇の特別
会見—誤解招かぬ慎重さを」
→12・12A「天皇会見、首相が特例要請—中国副主席訪日、期限後に宮内
庁へ—経緯への懸念表明、宮内庁長官」「慣例変更慎重さ必要」「会見要請、
党の意向？—中国、小沢氏に打診—首相、天皇の政治利用否定—中国『ポ
スト胡へ追い風』」
- 12・8 イラク—首都バグダッドで車爆弾などによるテロ相次ぐ—127 人死亡、448
人負傷（12・9A）
→12・7 アフガン戦争—英軍死者 100 人に（09 年）—01 年作戦開始以来英
軍死者数 237 人（12・9A）
⇒12・7～8 パキスタン、テロ攻撃計 70 人死亡、負傷者 180 人超（12・9M）

世界を失望させたオバマのノーベル賞受賞演説

- 12・10 →12・10 オバマ米大統領、ノーベル平和賞「受賞」演説（オスロ）－「武力行使は不可欠だけでなく、道徳上も正当化されることもある」とアフガン戦略を正当化
- 12・11A 「正義としての平和めざそうーオバマ氏、受賞演説ーノーベル賞」／M 「『永続的平和を追求し続ける』ーノーベル平和賞授賞式、オバマ大統領出席」
- 12・12Y 「『正しい戦争』欧州失望、平和賞オバマ演説ーアフガン協調に影響も、『政敵』米保守派は大絶賛」
- 12・12T(社) 「オバマ氏平和賞ー世界の共感得られるか」